【大学入試 英文法・英作文 重要単元プリント】

抽象名詞＋同格の that 完全攻略マスターシート

― 判断基準・使えそうで使えない NG 名詞・難関大頻出の要注意名詞・全ジャンル網羅リスト ―

年　　組　　番　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付：　　月　　日

1. 同格の that を導く名詞の「大原則」と判断基準

抽象名詞の直後に置かれ、「～という（名詞）」と内容をイコール（＝）で説明する **同格節の that**。しかし、すべての抽象名詞が同格の that をとれるわけではありません。入試の英作文（自由英作文・和文英訳）や正誤問題で失点しないために、まず以下の 3 つの判断基準を完全に身につけましょう。

○ 同格の that をとれる名詞の代表例	× 同格の that をとれない名詞の代表例
The fact that he succeeded surprised us. 彼が成功したという事実は私たちを驚かせた。 （＝「その事実」の具体的な中身が「彼が成功したこと」）	**The problem is that we have no time.** 問題は私たちに時間がないことだ。 （× The problem that we have no time... とはしない）

【絶対ルール】同格の that をとれるか見分ける「3 つの判断基準」

基準①「思考・発言・情報・感情」の具体的な中身（命題）を表せるか：同格の that は「頭の中で考えたこと・口に出したこと・耳にした情報・心で感じたこと」の中身をそのまま展開します。動詞（know, think, believe, hope, fear, announce, promise など）から派生した名詞や、情報・命題を表す名詞（fact, idea, news）は原則として同格の that をとれます。

基準②「名詞 is that S V」と書き換えて中身を定義できるか：「その事実＝～ということ」「その考え＝～ということ」のように、名詞そのものの具体的な中身が文（S V）で完結するものは同格にできます。一方で、単なる状況や属性のラベルにすぎない名詞（problem, situation, trend, advantage など）や、すでに別の関係詞と結びつく名詞（reason, time, place, way など）は同格の that を嫌います。

基準③ 後ろに「前置詞＋動名詞（of -ing）」や「to 不定詞」を好む語か：英語では「名詞＋of＋動名詞」や「名詞＋to V」の形を好む語が多く、that 節を直接つなげられない名詞が多数存在します。

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

2. 同格の that と「使えそうで使えない」NG 名詞リスト（英作文・正誤対策）

日本語では「～という問題」「～という理由」「～という傾向」と自然に訳せるため、英作文でうっかり that を続けてしまいがちな要注意名詞です。大学入試の正誤問題・自由英作文の減点ワースト上位の項目を網羅しています。

名詞	意味	NG 例（同格不可）	正しい表現・言い換えと和訳
problem / issue / question	問題・課題・疑問	**× the problem that S V**	the problem of raising money / of A doing（資金を集めるという問題：of + 名詞・動名詞を使う）
reason / cause	理由・原因	**× the reason that S V（同格）**	the reason why he left / the cause of the fire（彼が去った理由：関係副詞 why / 関係代名詞 that のみ可）
tendency / trend	傾向・風潮	**× a tendency that S V**	a tendency (for 人) to V / a trend toward ～（～する傾向：to 不定詞［意味上の主語は for 人］または toward + 名詞）
custom / habit / practice	習慣・慣習	**× the habit that S V**	the habit of getting up early（早起きする習慣：of + -ing を使う）
advantage / merit / benefit / disadvantage / drawback	利点・メリット／欠点・デメリット	**× the advantage that S V**	the advantage of living alone（一人暮らしをする利点：of + -ing を使う）
purpose / aim / goal / objective	目的・目標	**× the purpose that S V**	the purpose of learning English / to learn ～（英語を学ぶ目的：of + -ing / to 不定詞を使う）
ability / skill / capacity / capability	能力・技術・力量	**× the ability that S V**	the ability to solve problems（問題を解決する能力：to 不定詞を使う）
mistake / error / fault	間違い・誤り・過失	**× the mistake that S V**	the mistake of trusting him（彼を信じるという間違い：of + -ing を使う）
situation / case / condition / state	状況・場合・状態（※condition は「状態」の意味では不可。「条件」なら on	**× a situation that S V（同格）**	a situation where (in which) we must act（私たちが行動すべき状況：関係副詞 where / in which）

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

	condition that 可）		
effort / attempt / struggle	努力・試み・奮闘	**× an attempt that S V**	an attempt to climb the mountain（その山に登ろうとする試み：to 不定詞を使う）
way / method / means	方法・手段	**× the way that S V（同格）**	the way to solve it / the means of doing ～（それを解決する方法：to 不定詞 / of -ing。※way that は関係副詞代用）
opportunity / occasion	機会・折	**× an opportunity that S V**	an opportunity to study abroad / of studying ～（留学する機会：to 不定詞 / of -ing。※chance は「可能性」なら同格可）
difficulty / trouble	困難・苦労	**× the difficulty that S V**	the difficulty of learning a new language（新しい言語を学ぶ困難さ：of + -ing を使う）
necessity / need	必要性	**× the necessity that S V（通常不可）**	the necessity of protecting nature / the need to act（自然を保護する必要性：of + -ing / to 不定詞。※仮定法現在の that 節は例外）
result / outcome / consequence	結果・結末	**× the result that S V（同格）**	as a result of ～ / with the result that S V（結果の副詞句）（結果として～になる：名詞を同格 that で修飾はしない）

【入試頻出の盲点】reason that / way that / time that は「同格」ではない！

1. The reason that he was late... : この形自体は文法的に正しいですが、that は同格ではなく「関係副詞 why の代用（または関係代名詞）」です。「～という理由」という同格節を作ることはできないため、英作文では The reason why he was late または The reason is that he missed the train.（理由は彼が電車に乗り遅れたことだ）とするのが安全です。

2. The way that she speaks... / The time that we met... : これらもすべて関係副詞（how / when）の代用としての that です。後ろの文が「その方法で／その時に」という意味の副詞要素を補って成り立っている点を見抜きましょう。

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

3. 同格の that と「使えなさそうで実は使える」要注意名詞リスト（難関大読解対策）

基本の fact, idea, news 以外に、一見すると前置詞や不定詞しかとらなそうに見えて、実は同格の that をしっかり従えることができる名詞です。難関大の長文読解や和訳問題で頻出します。

名詞	意味	同格節をとった例文と和訳・解説
chance	可能性・見込み	**There is a good chance that it will rain tomorrow.** 明日雨が降る可能性が高い。（※「機会」なら to 不定詞、「可能性」なら同格の that）
danger / risk / hazard	危険性・おそれ	**There is a danger that the bridge might collapse.** その橋が崩落する危険性がある。（fear「恐れ」と同じ仲間として同格をとる）
sign / indication / symptom	兆候・しるし	**There is no sign that the storm is stopping.** 嵐がやむ気配・兆候はまったくない。（evidence「証拠」と同じ仲間）
impression	印象・感じ	**I got the impression that he was hiding something.** 私は彼が何かを隠しているという印象を受けた。（思考・感覚を表す名詞）
excuse / pretext	言い訳・口実	**He made the excuse that he was stuck in traffic.** 彼は渋滞に巻き込まれたという言い訳をした。（発言内容を表す名詞）
rumor / gossip / hearsay	うわさ・風聞	**I heard a rumor that the company will close.** その会社が閉鎖するというううわさを聞いた。（情報伝達を表す名詞）
illusion / delusion / myth	幻想・思い込み・俗説	**Do not live under the illusion that money solves everything.** お金がすべてを解決するという幻想を抱いて生きてはいけない。
grounds / basis	根拠・理由・土台 （※「根拠」は複数形 grounds）	**He resigned on the grounds that his health was poor.** 彼は健康状態が良くないという理由で辞職した。（※reason は不可だが on the grounds that ～ は頻出）
guarantee / assurance / pledge	保証・確約・誓約	**There is no guarantee that we will win.** 私たちが勝つという保証はない。（promise「約束」と同じ仲間）
sense / feeling / hunch / intuition	感覚・予感・直感	**I have a strong feeling that she will accept.** 彼女が承諾するという強い予感がする。

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

condition / proviso / stipulation	条件（※ただし書き）	**I'll lend you the money on condition that you pay it back next month.** 来月返すという条件でそのお金を貸そう。（on condition that ～ で「～という条件で」の頻出表現）
point / aspect / respect	点・側面	**The two plans differ in the point that ours costs less.** 2 つの計画は私たちの案の方が費用がかからないという点で異なる。（※in that S V「～という点で」の原型）
principle / rule / law	原則・法則・決まり	**We operate on the principle that all people are equal.** 私たちはすべての人は平等であるという原則に基づいて行動している。
dream / vision / ideal	夢・将来像・理想	**She cherished the dream that she would become a doctor.** 彼女は医者になるという夢を大切に抱いていた。
mystery / paradox / irony	謎・逆説・皮肉	**It is a mystery that nobody noticed the mistake.** 誰もその間違いに気づかなかったというのは謎だ。（※形式主語 It … that の強調的表現とも重なる）

4. 【大学入試 完全網羅】同格の that をとる抽象名詞・全ジャンル一覧

大学入試（共通テスト～国公立二次・早慶上智・難関私大）の読解・文法問題に登場する「同格の that をとる名詞」を 6 つの意味カテゴリーに分類して完全網羅しました。すべて和訳付きです。

グループ A：事実・真実・現実・証拠	fact（事実）／ truth（真実）／ reality（現実）／ certainty（確実性）／ evidence（証拠）／ proof（証明）／ sign（兆候）／ indication（しるし・兆し）／ symptom（兆候・症状）／ phenomenon（現象）
グループ B：情報・報道・うわさ・記録	news（知らせ・ニュース）／ information（情報）／ report（報告）／ message（伝言・メッセージ）／ word（知らせ ※無冠詞単数で word that ～）／ rumor（うわさ）／ gossip（うわさ話）／ legend（伝説）／ myth（神話・俗説）／ story（話）／ account（説明・報告）／ record（記録）／ admission（承認・自白）／ confession（告白）／ revelation（暴露・新事実）
グループ C：可能性・見込み・危険・保証	possibility（可能性）／ probability（見込み・蓋然性）／ likelihood（可能性）／ chance（可能性・見込み）／ prospect（見通し・見込み）／ risk（危険性）／ danger（危険・おそれ）／ threat（脅威・おそれ）／ guarantee（保証）／ assurance（確約・保証）／ warranty（保

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

	証）
グループ D：思考・意見・信念・仮定・結論	idea（考え）／ thought（思考・考え）／ opinion（意見）／ view（見解）／ viewpoint（観点）／ perspective（見方）／ belief（信念）／ faith（信頼・信念）／ conviction（強い確信）／ confidence（確信）／ assumption（仮定・思い込み）／ presumption（推定）／ supposition（推測）／ hypothesis（仮説）／ theory（学説・理論）／ notion（観念・考え）／ concept（概念）／ impression（印象）／ illusion（幻想）／ delusion（妄想・思い込み）／ prejudice（偏見）／ awareness（認識）／ realization（自覚・認識）／ understanding（理解）／ recognition（認識）／ conclusion（結論）／ judgment（判断）／ decision（決定）／ determination（決意）／ resolution（決意・決議）
グループ E：発言・主張・約束・提案・警告	statement（声明・発言）／ remark（発言・言葉）／ comment（コメント）／ claim（主張）／ assertion（断言・主張）／ argument（議論・主張）／ contention（主張）／ declaration（宣言）／ announcement（発表）／ proclamation（布告・宣言）／ promise（約束）／ pledge（誓約）／ vow（誓い）／ oath（宣誓）／ warning（警告）／ caution（警告・注意）／ reminder（念押し）／ suggestion（提案）／ proposal（提案）／ recommendation（推薦・勧告）／ advice（忠告）／ instruction（指示）／ order（命令）／ command（命令）／ demand（要求）／ request（要請）／ plea（懇願）／ excuse（言い訳・弁解）／ pretext（口実）／ explanation（説明）／ justification（正当化）
グループ F：感情・願望・不安・疑い	hope（希望）／ wish（願い）／ desire（願望）／ dream（夢）／ expectation（期待）／ anticipation（予期・期待）／ fear（恐れ）／ worry（心配）／ anxiety（不安）／ concern（懸念・心配）／ dread（恐怖）／ doubt（疑い）／ suspicion（嫌疑・疑念）／ feeling（予感・気持ち）／ sense（感覚・意識）／ intuition（直感）／ relief（安堵）／ regret（後悔）／ disappointment（失望）／ surprise（驚き）／ astonishment（驚愕）／ satisfaction（満足）／ pride（誇り）

5. 読解＆入試頻出の応用パターン 3 選

パターン① 関係代名詞 that との見分け方（後ろの文の「完全・不完全」）

【同格の that】The news that he won the prize pleased everyone.（彼が賞を取ったという知らせはみんなを喜ばせた。）→ that の後ろが「S V O 揃った完全文」。省略は原則しない。

【関係代名詞】The news that he told me pleased everyone.（彼が私に話してくれた知らせはみんなを喜ばせた。）→ told me の目的語（O）が 1 つ欠けた「不完全文」。目的格なら省略可。

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

パターン② 【超重要】抽象名詞と that 節が離れる「分離同格」

解説：同格の that 節が長くなると、文のバランス（end-weight の原理）を保つため、述語動詞が先に置かれ、同格の that 節が文末に回されることがあります。

例文：Word came yesterday that the missing climber had been found safe.

（行方不明だった登山家が無事に発見されたという知らせが昨日届いた。／ ※Word＝that 以下の知らせ）

例文：The rumor spread quickly through the town that the factory would close.

（その工場が閉鎖されるというううわさが町中にあっという間に広まった。）

パターン③ 提案・要求・命令などの抽象名詞＋同格節中の「(should) + 動詞の原形」

解説：suggestion（提案）, proposal（提案）, demand（要求）, request（要請）, order（命令）, recommendation（勧告）, necessity（必要性※この形では可）などの後ろに続く同格の that 節では、主語の人称や時制に関係なく「(should) + 動詞の原形（仮定法現在）」が使われます。

例文：We agreed to his proposal that the meeting (should) be postponed until next week.

（私たちは会議を来週まで延期すべきだという彼の提案に賛成した。）

6. 確認ミニ演習（次の各問いの指示に従って答えよ）

1. [正誤訂正] We must face the problem that the population is aging rapidly.

誤り：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ → 正：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. [正誤訂正] There is a strong tendency that young people read fewer books.

誤り：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ → 正：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. [識別・和訳] There is little chance **that** the train will arrive on time. （下線部の識別：同格 ／ 関係代名詞）

和訳：

＿＿

4. [構文・和訳] The belief is widely held that hard work always leads to success.

和訳：

＿＿

5. [語法選択] The doctor rejected the patient's request that he (be / is / being) discharged immediately.

和訳：

＿＿

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

【確認ミニ演習 解答・解説】

1. 誤：the problem that the population is aging → 正：the problem of the population aging rapidly（別解：the problem of a rapidly aging population）

【解説】problem は同格の that をとれないため、「of + 名詞 / 動名詞」の形に改める。

2. 誤：tendency that young people read → 正：tendency for young people to read

【解説】tendency は同格の that をとれないため、tendency (for 人) to V の形にする。

3. 下線部の識別：同格 ／ 和訳：その電車が時間通りに到着する可能性はほとんどない。

【解説】chance（「可能性」の意味）の後ろに S V 揃った完全文が続いているため、同格の接続詞 that。

4. 和訳：努力は必ず成功につながるという信念が広く抱かれている。

【解説】分離同格の構文。主語 The belief の同格節（that hard work ...）が文末に分離している。

5. 正解：be ／ 和訳：医師は即座に退院させてほしいという患者の要請を却下した。

【解説】request（要請）に続く同格の that 節中では「(should) + 動詞の原形」を用いるため、主節が過去形でも原形の be を選ぶ。

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.

Copyright © 2026 OBLECTO All Rights Reserved.